

# 令和6年度 専門研修(断続研修) 保健体育研修講座プログラム

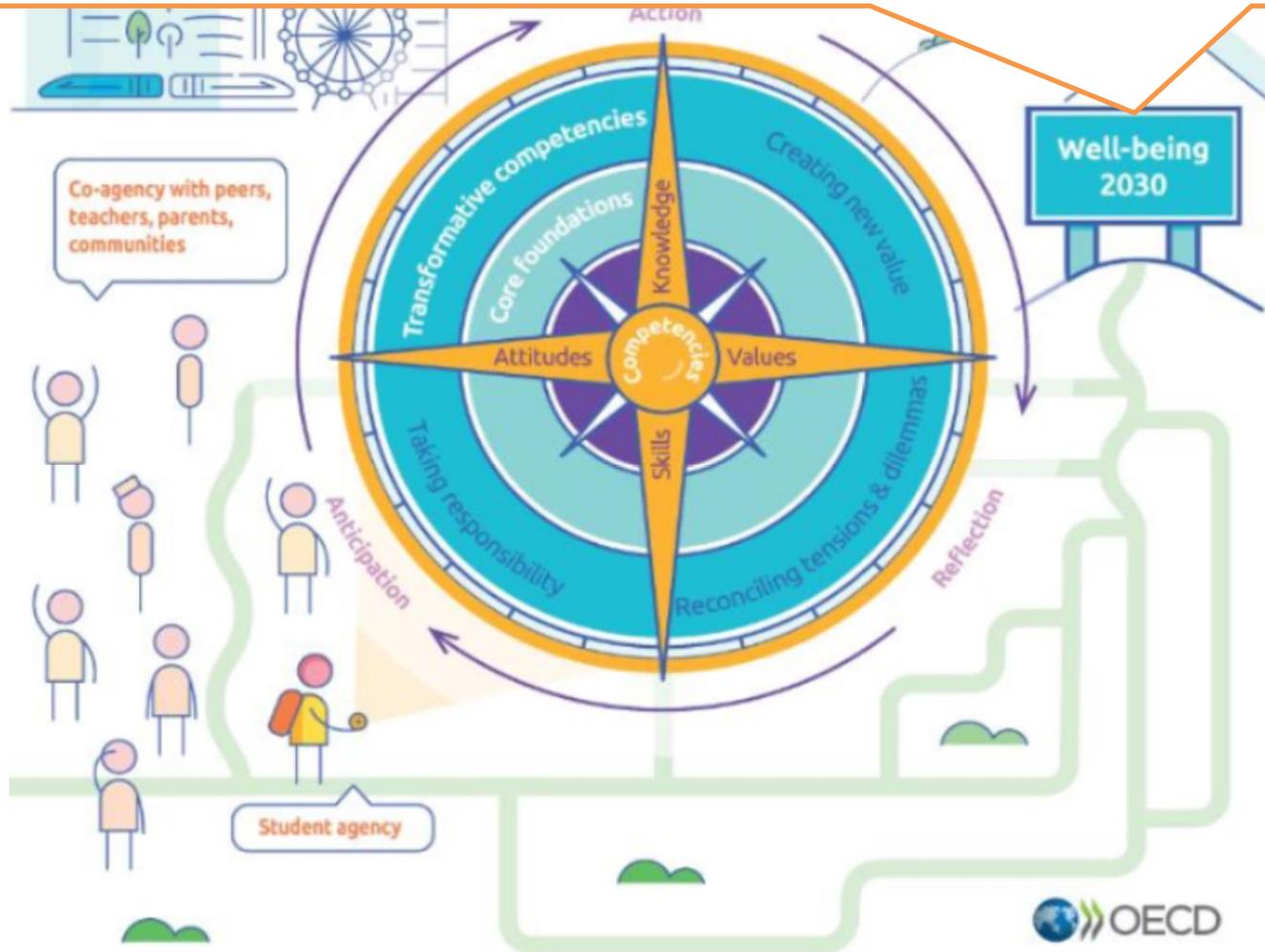
## 体育科・保健体育科授業の在り方について

福岡教育大学 教職大学院  
本多壮太郎

R6.5.14(火) 於 福岡県体育研究所

# OECD Learning Compass (学びの羅針盤) 2030

個人及び集団がよりよくあること、満たされた状態、  
幸せ、いきいきとした状態



(OECD, 2019a)

# ウェル・ビーイング (Well-being)

肉体 (身体) 的, 精神 (心理) 的, 社会 (福祉) 的に「満たされた状態 (広義の健康) = 持続的ウェル・ビーイング (「幸せ」「いきいきとした状態)」

## 狭義の健康 (肉体・身体的) 医学的ウェル・ビーイング

- ・医学系では, Well-being を「健康」と訳す傾向
- ・健康診断やメンタルヘルスの質問紙調査で測定可能 (客観的) な領域

## 幸福 (精神・心理的) 心理学的ウェル・ビーイング

- ・心理学系では, Well-being を「幸せ」「幸福」と訳す傾向
- ・現在の気分のよしあし, 快/不快等の主観的な感情の領域
- ・Happiness, 楽しい, 嬉しい
- ・Subjective well-being (主観的幸福感)

## 豊かさ (社会・福祉的) 福祉的ウェル・ビーイング

- ・SDGsや福祉系学会では Well-being を「福祉」と訳す傾向
- ・ウエルフェアは元来「福祉」や「豊かさ」を意味する言葉であり, 国家が全ての市民に最低限の幸福と社会的援助を提供するという理念 (受動)
- ・社会的な弱者が能動的にウエルフェアを獲得できるのが福祉的ウェル・ビーイング

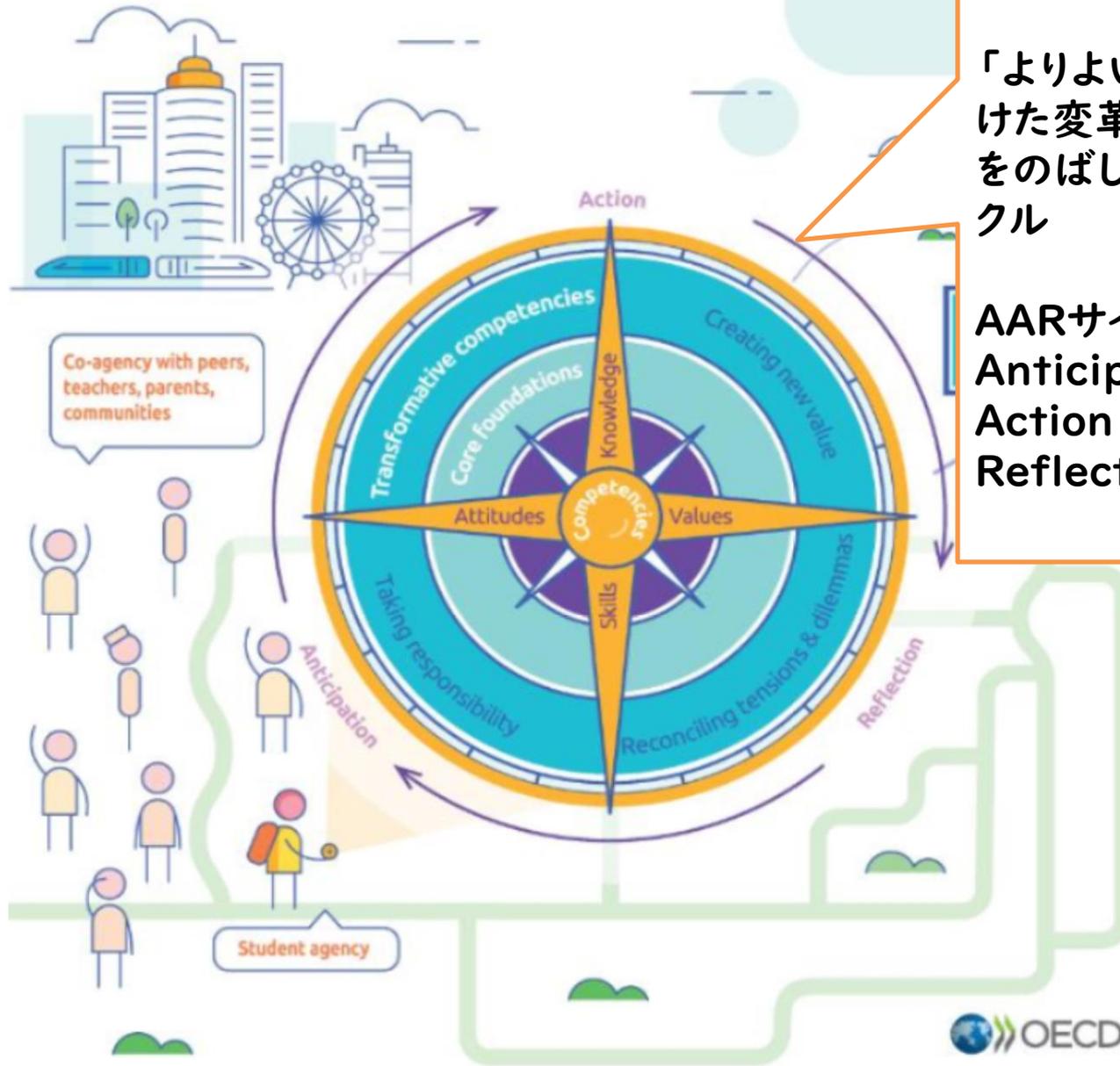
身体活動による教育  
(運動を手段として健康を目指す体育)

楽しい体育 (運動を目的とした生涯スポーツを目指す体育)

共生体育 (全ての学習者が包摂し合い, 豊かなスポーツライフを目指す体育)

体育の志向

# OECD Learning Compass (学びの羅針盤) 2030



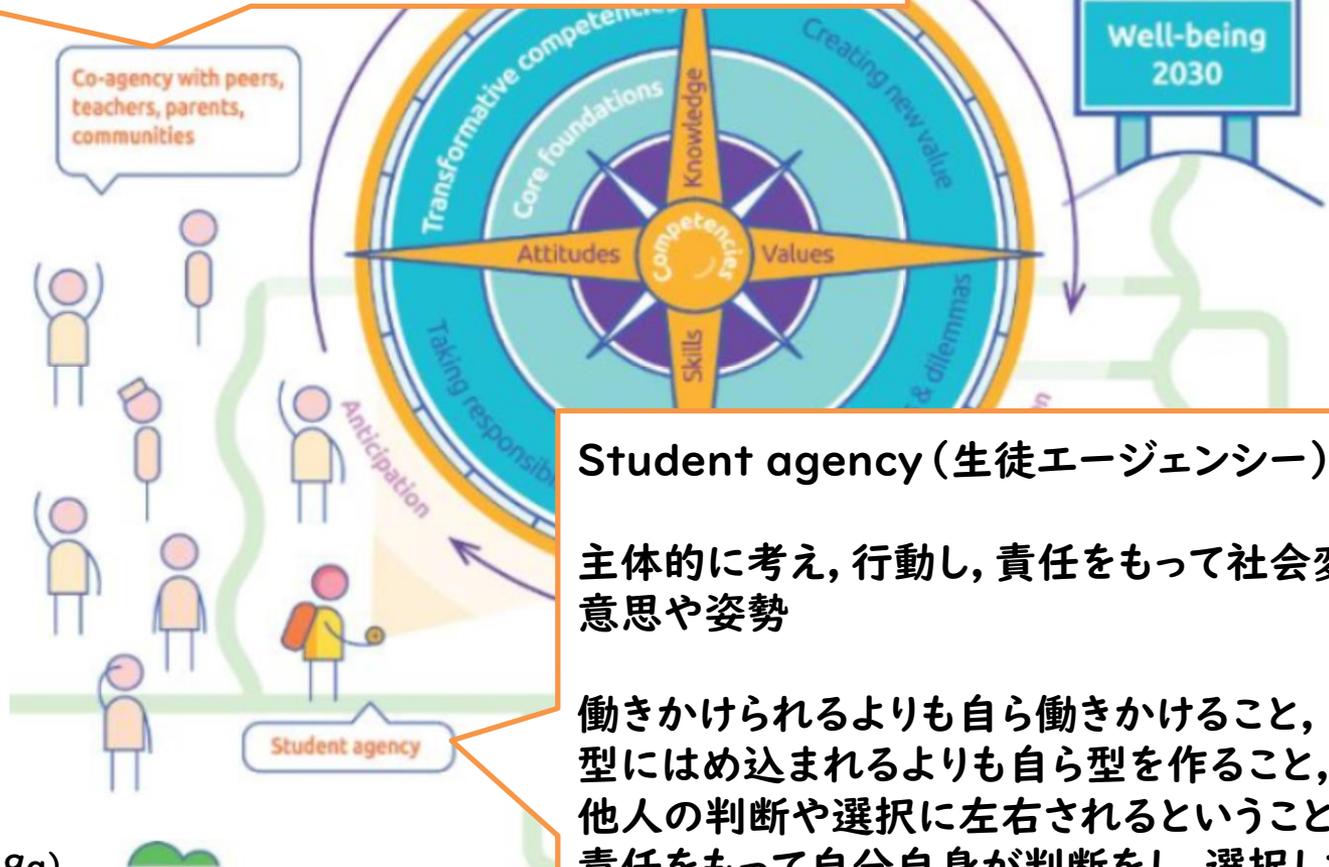
「よりよい未来の創造に向けた変革を起こしていく力をのばしていくためのサイクル」

AARサイクル  
Anticipation (見通し)  
Action (行動)  
Reflection (振り返り)

# OECD Learning Compass (学びの羅針盤) 2030

## Co-agency (共同エージェンシー)

生徒が共有された目標に向かって邁進できるように支援する、保護者との、教師との、コミュニティとの、そして生徒との双方向的な互いに支え合う関係

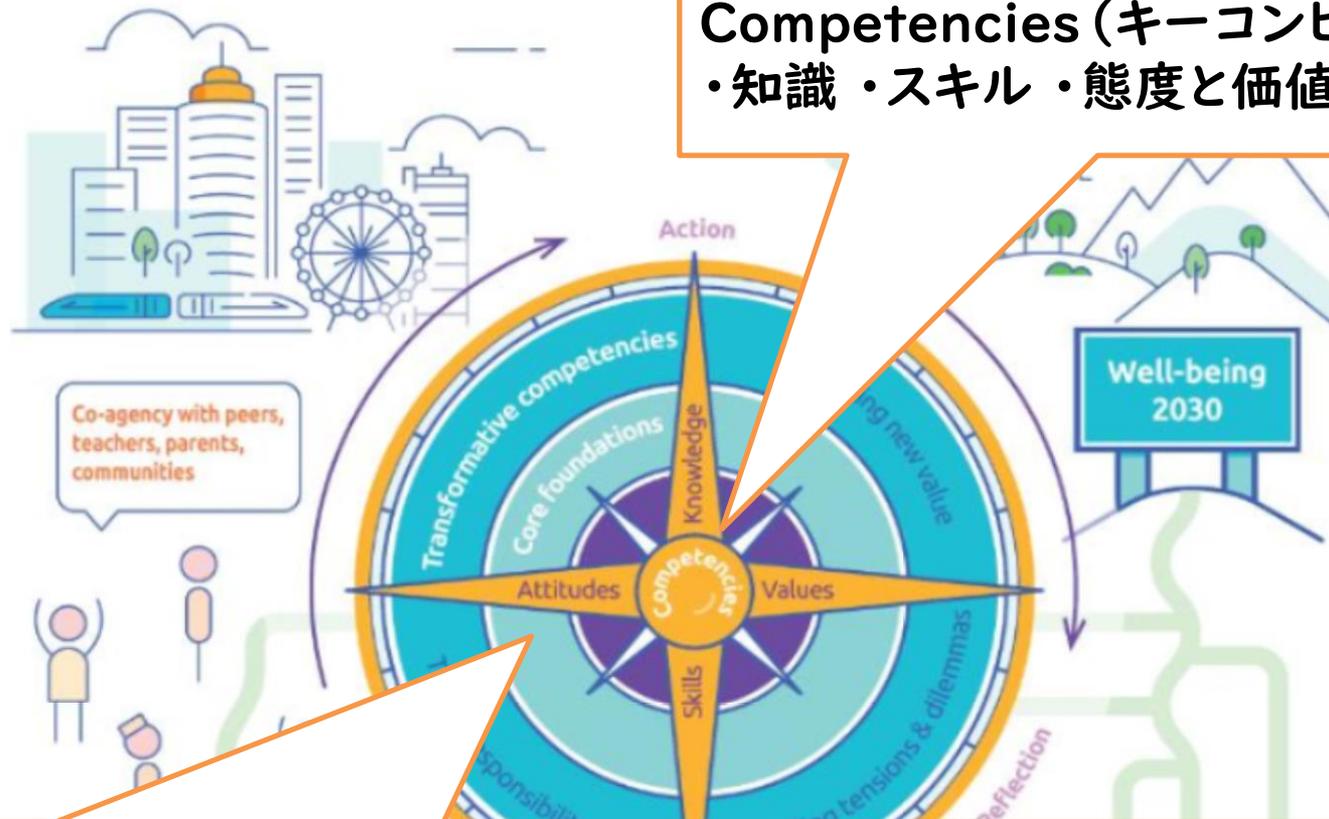


## Student agency (生徒エージェンシー)

主体的に考え、行動し、責任をもって社会変革を実現していく意思や姿勢

働きかけられるよりも自ら働きかけること、型にはめ込まれるよりも自ら型を作ること、他人の判断や選択に左右されるということではなく、責任をもって自分自身が判断をし、選択していくこと

# OECD Learning Compass (学びの羅針盤) 2030



Competencies (キーコンピテンシー)  
・知識・スキル・態度と価値感

## Core foundations (学びの基礎・基盤)

- ・Literacy (読解力)
- ・Numeracy (数学的リテラシー)
- ・Data and digital literacy (データ・デジタル活用能力)
- ・Physical and mental health (身体的・精神的健康)
- ・Social and emotional foundations (社会的・情動的基盤)

# OECD Learning Compass (学びの羅針盤) 2030



Transformative competencies (よりよい未来の創造に向けた変革を起こす力)

- Creating new values (新たな価値を創造する力)
- Reconciling tensions and dilemmas (対立やジレンマに対処する力)
- Taking responsibility (責任ある行動をとる力)

# OECD Future of Education 2030

Making Physical Education Dynamic and Inclusive for 2030  
International Curriculum Analysis

OECD Education 2030プロジェクト

# 保健体育教育の 未来をつくる

OECDカリキュラム国際調査



経済協力開発機構(OECD) 編著  
日本体育科教育学会 監訳

明石書店



2023年10月

## Highlights

Physical and health education has the potential to become one of the cornerstones of the education of tomorrow that contributes to the holistic development of students, fostering the development of crucial competencies and the physical and mental health of students.

**体育及び保健教育は、生徒にとって  
不可欠なコンピテンシーの発達と  
生徒の身体的・精神的健康の育成を  
通して、全人的な成長に貢献し、  
これからの教育において重要な1つとなる  
可能性を備えたものである。**

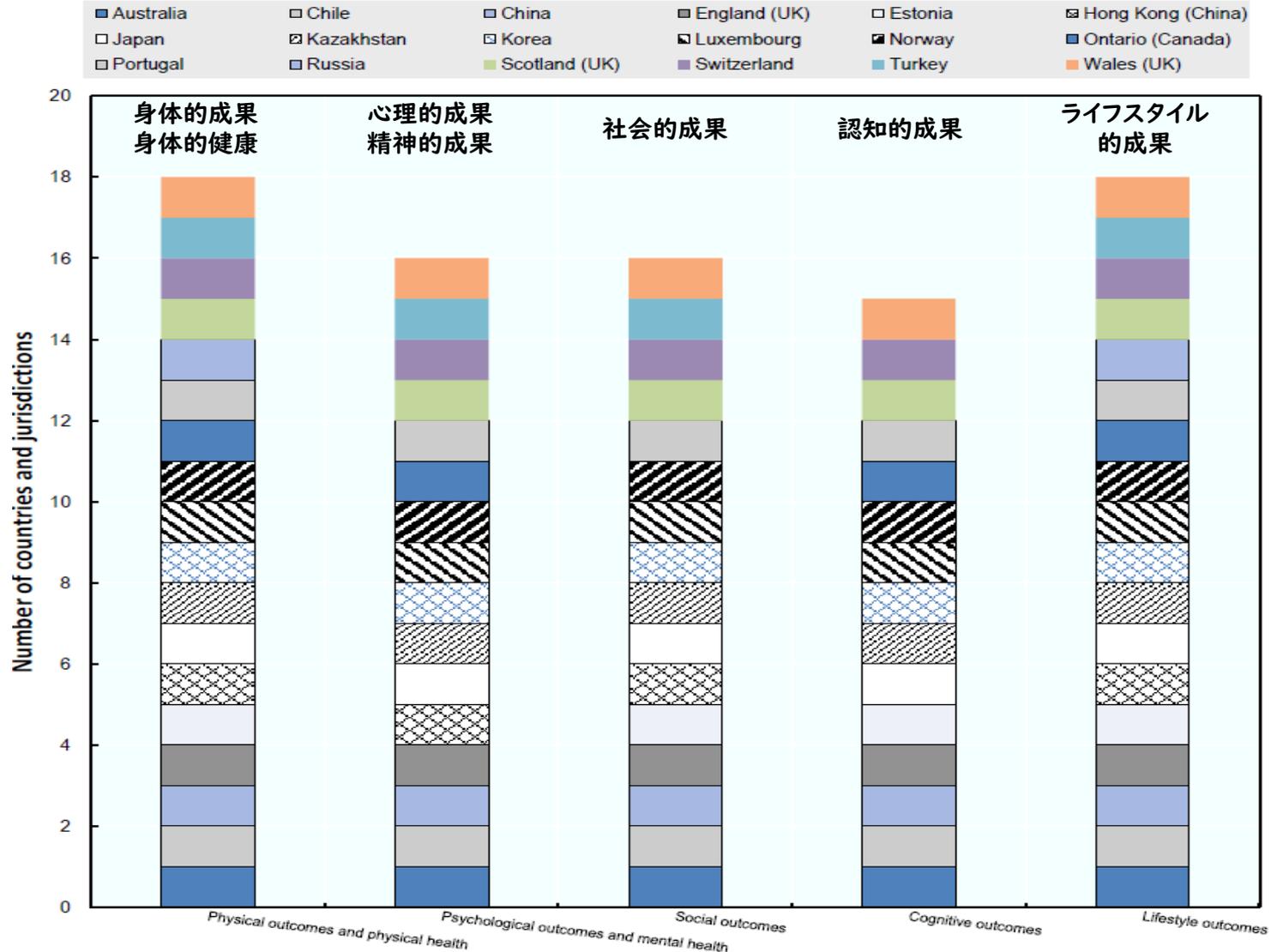
(OECD, 2019b: 12)

# 他国の体育(二昔前)

1	法的には大部分の国(92%以上)の義務教育段階で必修教科とされているが、 <b>体育の授業が政策通りに実施されておらず、非実施率が高い</b> (アフリカ75%, アジア67%, 中央ならびにラテンアメリカ50%, 南ヨーロッパ50%)。
2	カリキュラムに組み入れる教科としての位置づけについて約70%の国で、 <b>体育が持つ「アカデミックな価値」に対する疑念</b> が示されている。
3	保護者らは、体育の授業は <b>「気晴らし」</b> と捉え、スポーツのコーチでも実施可能だとの見解を示している。
4	教師が <b>「気まぐれ」な授業</b> を展開したり、 <b>学習活動を遠隔操作</b> することが多い。
5	教師に学習者の心理や授業方法に関する多くのバリエーションが準備されていない。いわゆる <b>「スポーツマスター(スポーツを積極的に行っているが、体育に関して公的な教育を受けていない)</b> のような人が多い。

# 体育・健康教育の主な目標 (OECD, 2019b: 42)

Figure 3.1. Main goals of the national physical and health education curriculum in participating countries and jurisdictions



Source: Education 2030 International Comparative Review of Physical Education questionnaire (2018).

# 体育は、恵まれていない生徒及び女子への より平等な身体活動の機会を提供する

学校外での活発あるいは適切な身体活動を行わない生徒

Advantaged students < Disadvantaged students (4.5%高い)

\*体育は多くの生徒にとって、指導者がいて構造化された中での唯一の身体活動の機会

\*男子のほうが女子よりも活発～適切な身体活動に従事している  
例（体育の中で最も取り扱われている球技での活動状況）



Gender equality (男女平等), inclusiveness (共生) の実現に向けた体育

(OECD, 2019b: 46)

# Chapter 4

21世紀に向けた体育の  
今日のチャンレンジと  
これからの方向性  
より

「ダイナミック」で「インクルーシブ」な  
体育と健康教育

エージェンシーモデルの効果的な実施



知識ベースで蓄積された  
カリキュラムデザインに関する共通原理

OECD Future of Education and Skills 2030  
Project の実施

を通して

# 育成を目指す資質・能力の三つの柱

学びを人生や社会に活かそうとする  
学びに向かう力・人間性等

どのように社会, 世界と関わり,  
よりよい人生を送るか

誰に何をどのように → **誰が**何をどのように

何を理解しているか  
何ができるか

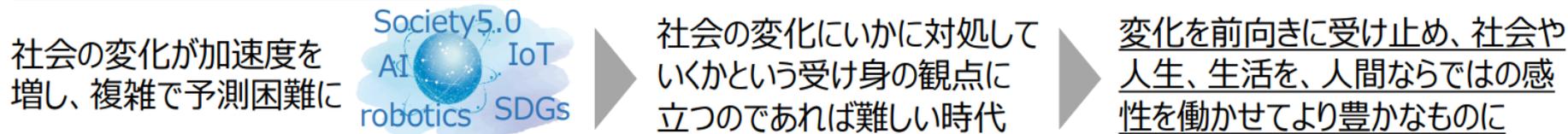
生きて働く知識・技能

理解していること・できる  
ことをどう使うか

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等

# 新学習指導要領とGIGAスクール構想の関係

## 2030年の社会と子供たちの未来（平成28年12月中央教育審議会答申から抜粋）



## 平成29年、30年、31年学習指導要領

**前文** これからの学校には、（略）一人一人の児童（生徒）が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

育成を目指す資質・能力の三つの柱



資質・能力の育成



・各教科等で育成を目指す資質・能力の育成  
・言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成等

授業改善

学習指導要領 総則  
第3 教育課程の実施と学習評価

主体的・対話的で深い学び

一体的に充実

学習指導要領 総則  
第4 児童（生徒）発達の支援

個別最適な学び（教師視点では「個に応じた指導」）、協働的な学び

主体的・対話的で深い学び、個別最適な学び及び協働的な学びに生かす

**GIGA※スクール構想（1人1台端末・高速ネットワーク）**（カリキュラム・マネジメントにおける物的な体制整備に位置付けられる。）

教育・学習におけるICT活用の特性・強みを生かし、新学習指導要領の趣旨を実現するため重要な役割を果たす。

※Global and Innovation Gateway for Allの略



第1章 はじめに

第2章 体育・保健体育授業におけるICT活用の実態と課題

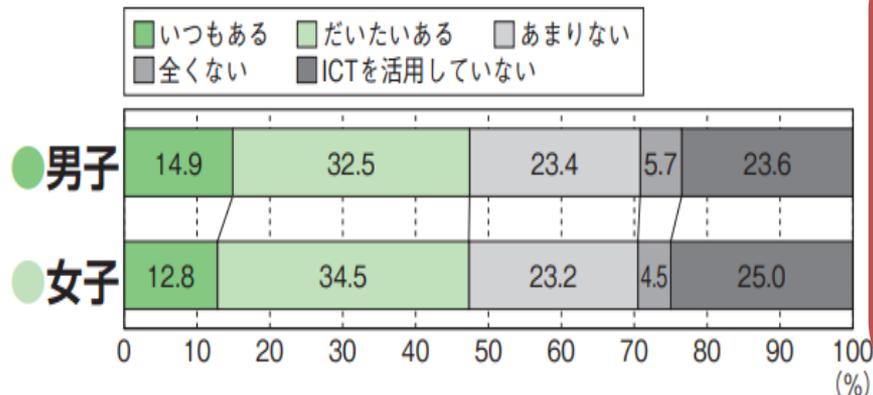
第3章 体育科・保健体育科におけるICT活用の取組

第4章 ICT端末の実践

第5章 資質・能力育成に向けたICT活用の検討

# 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

**質問15** 体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



あまりない・全くない

小5男子児童**29.1%** 小5女子児童**27.7%**

福岡県 男子**28.9%** 福岡県 女子**28.6%**

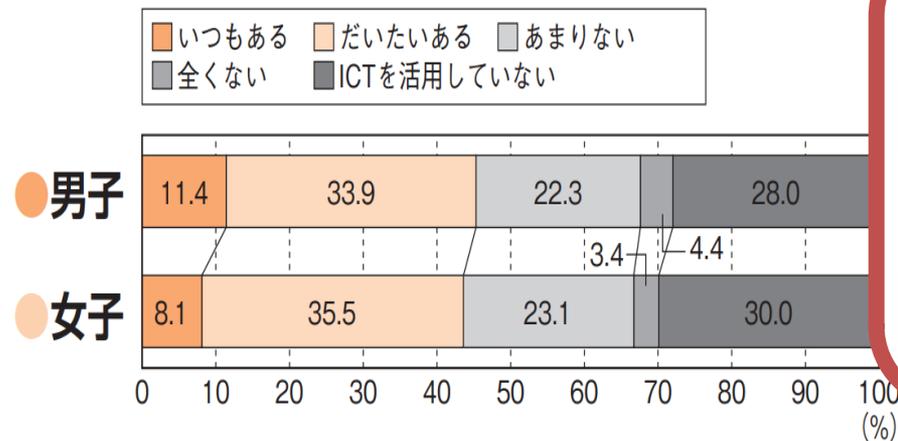
ICTを活用していない

小5男子児童**23.6%** 小5女子児童**25.0%**

福岡県 男子**23.5%** 福岡県 女子**24.6%**

スポーツ庁(2022c, p.51)

**質問15** 保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



あまりない・全くない

中2男子生徒**26.7%** 中2女子生徒**26.5%**

福岡県 男子**25.9%** 福岡県 女子**26.2%**

ICTを活用していない

中2男子生徒**28.0%** 中2女子生徒**30.0%**

福岡県 男子**26.1%** 福岡県 女子**27.8%**

スポーツ庁(2022b, p.66)

**ICT: Information and Communication Technology**

**I Can Teach  
PE better**

# 体育の「見方・考え方」

生涯にわたる豊かなスポーツライフへ

三つの資質・能力を関連付けながら育成

運動やスポーツ

する みる 支える 知る

価値や特性

楽しさ, 喜び,  
体力の向上

生涯にわたる豊かなスポーツライフに向けて

# 体育

運動やスポーツの特性や魅力を実感したり、  
運動やスポーツが多様な人々を結び付けたり、  
豊かな人生を送る上で重要であると認識する

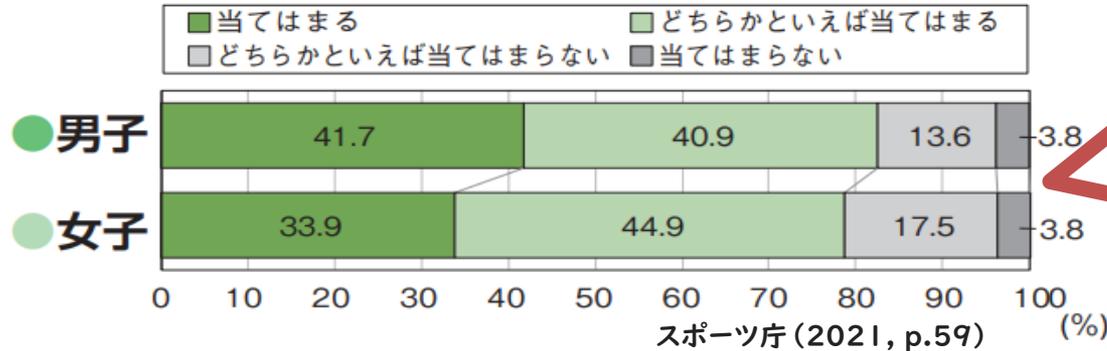
各種の運動やスポーツが有する楽しさや喜び、  
高まる体力などの視点から、  
自己の適性等に応じた多様な関わり方を見出す

体や技能の程度、年齢や性別及び障害の有無等にかかわらず、  
運動やスポーツの楽しみ方を共有する

ことができる

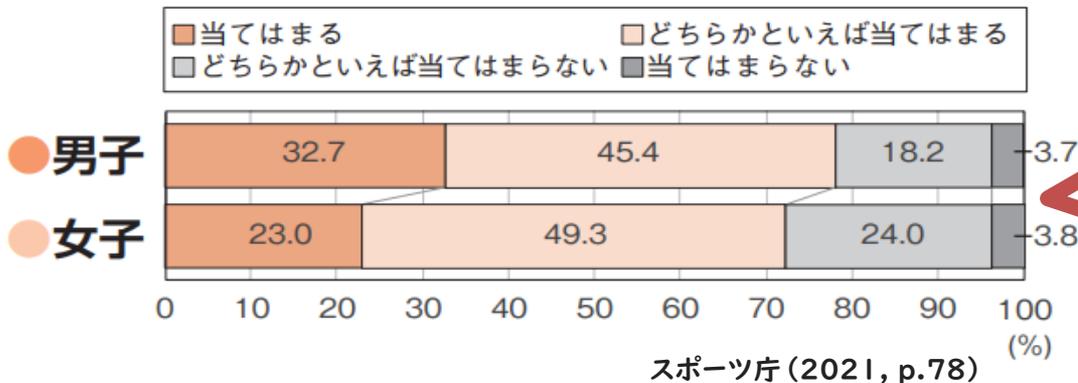
# 令和3年度全国体力・運動能力, 運動習慣等調査結果

**質問17** 「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している。」は、あなたにどれくらい当てはまりますか。



挑戦心をあまりもっていない、  
もっていない  
小5男子児童**17.4%**  
小5女子児童**21.3%**

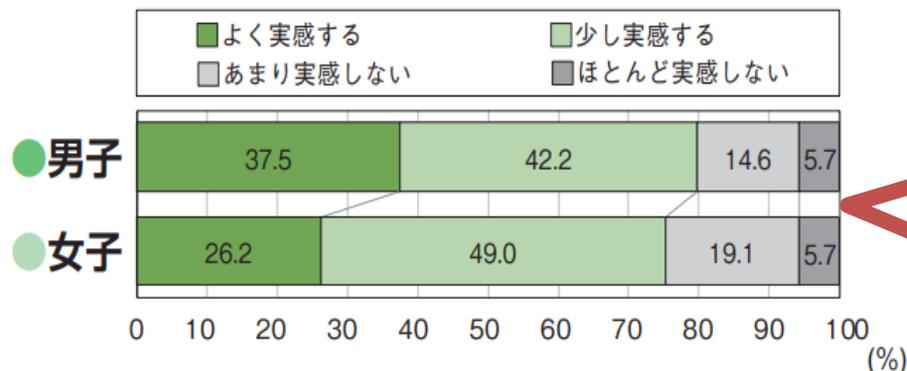
**質問17** 「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している。」は、あなたにどれくらい当てはまりますか。



挑戦心をあまりもっていない、  
もっていない  
中2男子生徒**21.9%**  
中2女子生徒**27.8%**

# 令和3年度全国体力・運動能力, 運動習慣等調査結果

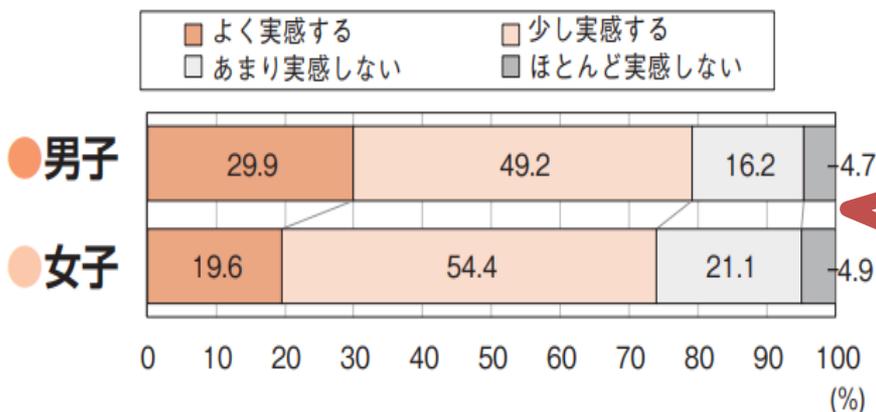
**質問12** 体育の授業で、自分の動きの質が向上している（例えば、ボール投げであれば、正しいフォームでボールを投げられるようになった）ことを実感することがありますか。



達成感をあまり味わえていない、  
ほとんど味わえていない  
小5男子児童**20.3%**  
小5女子児童**24.8%**

スポーツ庁(2021, p.58)

**質問12** 保健体育の授業で、自分の動きの質が向上している（例えば、ボール投げであれば、正しいフォームでボールを投げられるようになった）ことを実感することがありますか。（保健授業を除く）



達成感をあまり味わえていない、  
ほとんど味わえていない  
中2男子生徒**20.9%**  
中2女子生徒**26.0%**

スポーツ庁(2021, p.77)

# 小学校の場合 体育科 改訂の具体的事項

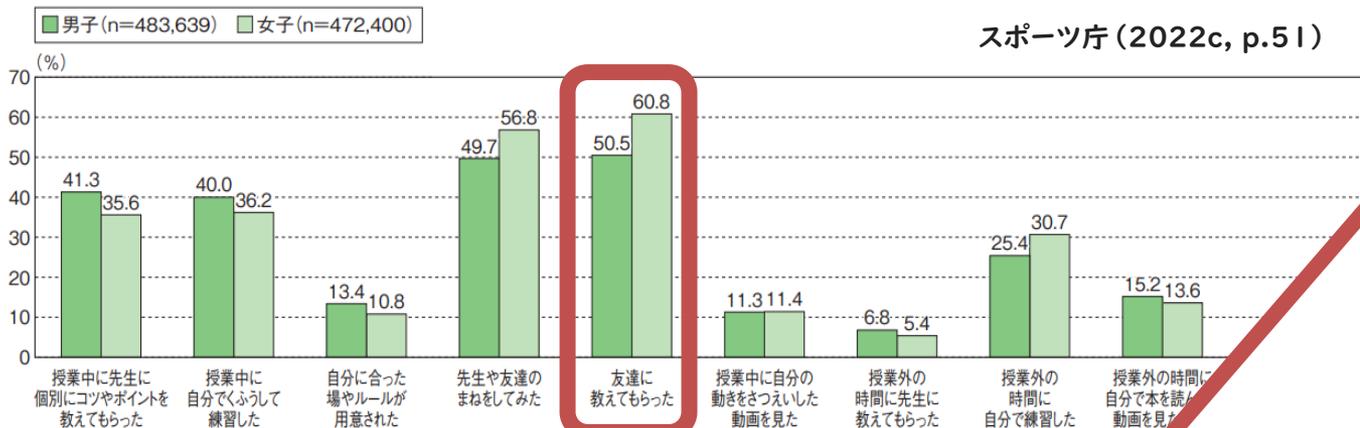
## ●（運動領域においては・・・）

全ての児童が、楽しく、安心して運動に取り組むことができるようにし、その結果として体力の向上につながる指導等の在り方について改善を図る。

その際、特に、運動が苦手な児童や運動に意欲的でない児童への指導等への在り方について配慮する。

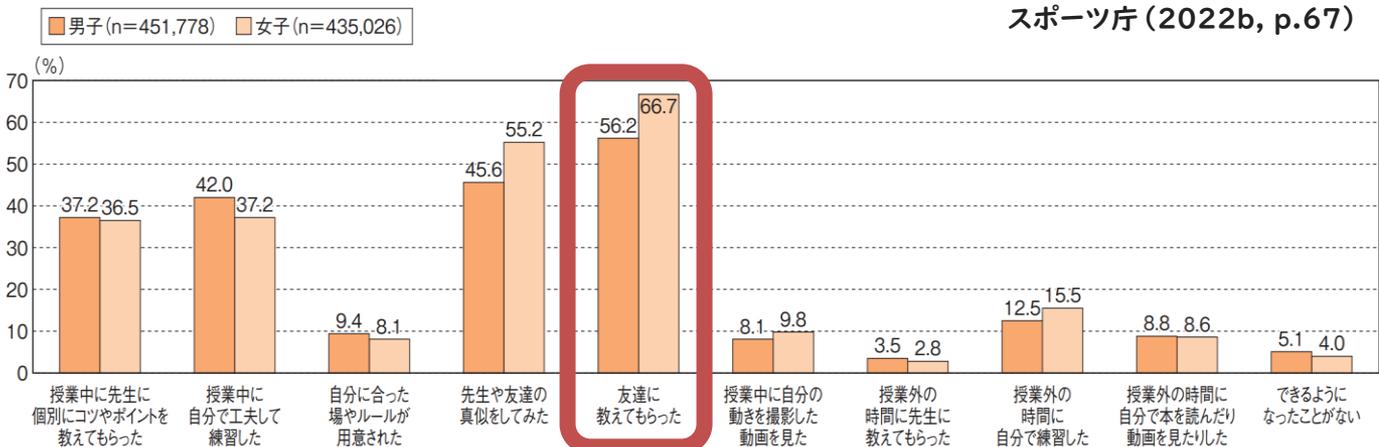
# 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

**質問16** これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。当てはまるものをすべて選んでください。



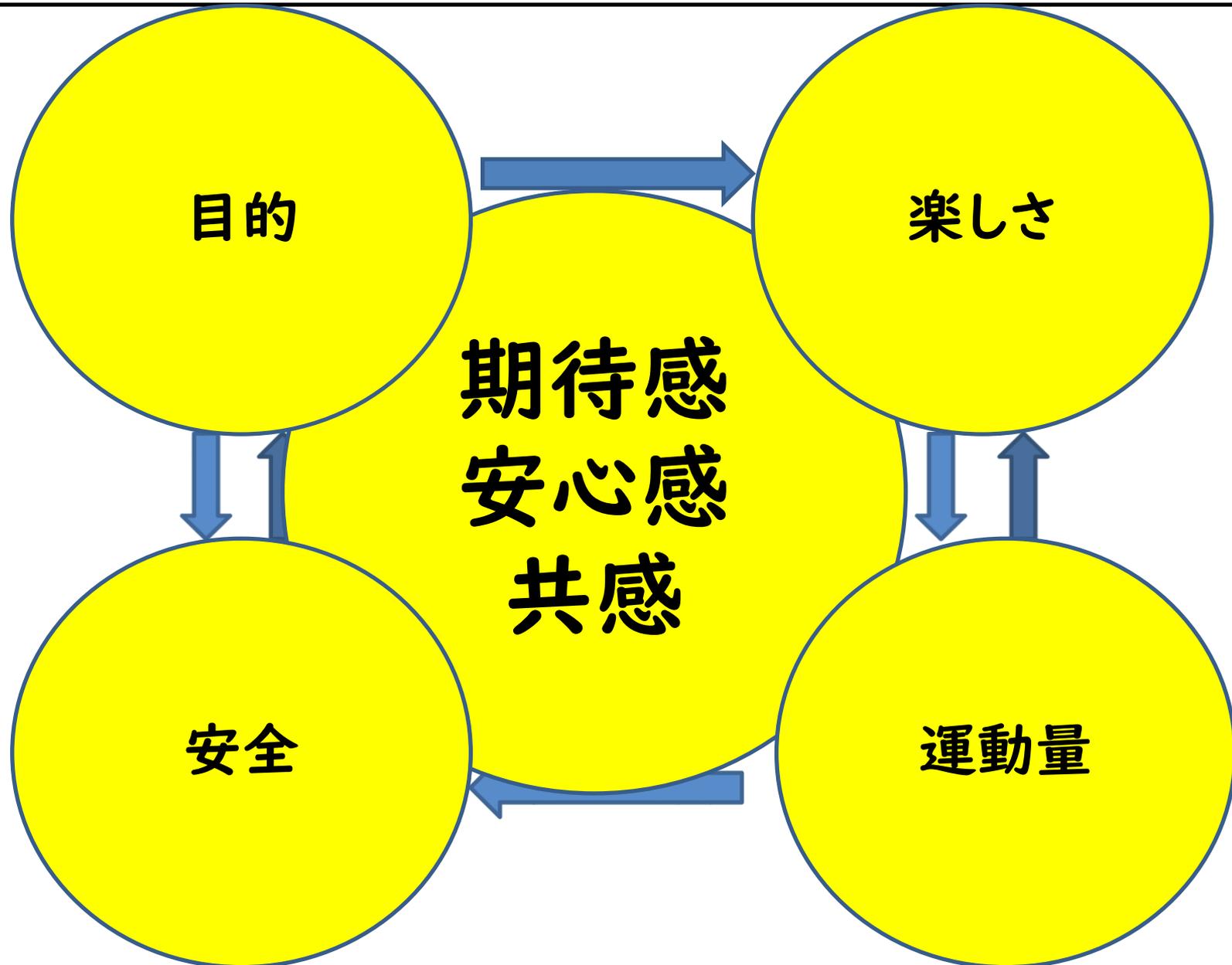
**友達に教えてもらった**

**質問16** これまでの保健体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。当てはまるものをすべて選んでください



「『仲のいい』友達」だけでなく  
「誰でも」学び合えるクラスに

# 授業づくり・教材づくりにあたって



# 期待感, 安心感, 共感

(福岡県体力向上推進委員会, 2023, 令和4年度 第2回体育・保健体育授業検討部会資料 末崎智宏先生作成 を基に)

堂々と失敗できる  
何回も挑戦できる  
練習の場の設定や  
試し合い等の工夫

教師の指導・援助  
を個別に受けるこ  
とができる活動の  
場の設定

段階的に挑戦した  
り、自己の能力に  
応じて選択したり  
することができ  
活動の場の設定

子どもたちが自身の  
アイデアが活かさ  
れた活動の場の設  
定

自己存在感の感受

共感的な人間関係の育成

自己決定の場の提供

安全・安心な風土の醸成

## 参考文献

福岡県体育研究所(2023)令和2・3・4年度福岡県体育研究所調査研究報告書 共生を基盤とした体育の授業づくり,  
[www.taiikukenyusho.ed.jp/service.html](http://www.taiikukenyusho.ed.jp/service.html) (参照日2023年4月10日)。

経済協力開発機構(OECD)(編著)日本体育科教育学会(監訳)(2023)保健体育教育の未来をつくるーOECDカリキュラム国際調査(OECD Education 2030 プロジェクト),明石書店:東京。

前野隆司・前野マドカ(2022)ウェル・ビーイング,日経文庫。

文部科学省(2018)小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 体育編,東洋館出版社:東京。

文部科学省(2022)生徒指導提要(改訂版),[https://www.mext.go.jp/content/20221206-mxt\\_jidou02-000024699-001.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20221206-mxt_jidou02-000024699-001.pdf),参照日(2023/01/23)

日本体育学会学校体育問題検討特別委員会(監訳)(2002)世界学校体育サミットー優れた教科「体育」の創造を目指してー,杏林書院。

OECD(2019a) Future of Education and Skills 2030 Concept Note, [https://www.oecd.org/education/2030-project/teaching-and-learning/learning/learning-compass-2030/OECD\\_Learning\\_Compass\\_2030\\_concept\\_note.pdf](https://www.oecd.org/education/2030-project/teaching-and-learning/learning/learning-compass-2030/OECD_Learning_Compass_2030_concept_note.pdf) (参照日2020年4月10日)。

OECD(2019b) OECD Future of Education 2030 Making Physical Education Dynamic and Inclusive for 2030, [https://www.oecd.org/education/2030-project/contact/Making\\_Physical\\_Education\\_Dynamic\\_and\\_Inclusive\\_for\\_2030.pdf](https://www.oecd.org/education/2030-project/contact/Making_Physical_Education_Dynamic_and_Inclusive_for_2030.pdf) (参照日2020年4月10日)。

スポーツ庁(2021)令和3年度全国体力・運動能力生活習慣等調査,  
[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/toukei/kodomo/zencyo/1411922\\_00003.html](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/kodomo/zencyo/1411922_00003.html) (参照日2022/04/01)。

スポーツ庁(2022a)児童生徒の1人1台のICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集,  
[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop04/list/1398875\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop04/list/1398875_00001.htm) (参照日2022/04/01)。

スポーツ庁(2022b)令和4年度全国体力・運動能力,運動習慣等調査 集計結果 中学校 生徒質問紙,  
[https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.mext.go.jp%2Fsports%2Fcontent%2F20221215-spt\\_sseisaku02-000026462\\_23.xlsx&wdOrigin=BROWSELINK](https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.mext.go.jp%2Fsports%2Fcontent%2F20221215-spt_sseisaku02-000026462_23.xlsx&wdOrigin=BROWSELINK) (参照日2023/01/23)。

スポーツ庁(2022c)令和4年度全国体力・運動能力,運動習慣等調査 集計結果 小学校 児童質問紙,  
[https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.mext.go.jp%2Fsports%2Fcontent%2F20221215-spt\\_sseisaku02-000026462\\_20.xlsx&wdOrigin=BROWSELINK](https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.mext.go.jp%2Fsports%2Fcontent%2F20221215-spt_sseisaku02-000026462_20.xlsx&wdOrigin=BROWSELINK) (参照日2023/01/23)。

梅澤秋久(2022)体育における教師と子どものウェル・ビーイング,体育科教育,70(7):48-50。